



日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○ 平成28年6月 日立一高ラグビー部「創部70周年記念事業」を実施します！！

本校ラグビー部は、昭和21年秋に茨城県内の高校初のラグビー部として創設され、これまで全国大会5回・関東大会28回出場などの戦績を残してきました。

（創設期の様子は、昨年度発行のOB会報第15号に掲載した故岩路善充先輩（第1回卒）の特別寄稿の中に詳述されています。ご覧になりたい方は、OB会ホームページの「OB会報バックナンバー」をご覧ください。）

周年行事についても、これまで30周年・40周年・50周年・60周年と4回実施し、節目の年に歴史と伝統を振り返るとともに、部活性化の起爆剤としてきました。

去る9月21日（土）会瀬青少年の家において今年度第1回の役員会を開催し、創部70周年記念事業は、平成28年6月に開催することと決定し、実行委員会は来年7月の学年幹事会を目途に、OB会役員を中心に設置することとしました。

事業の内容は、今後実行委員会において検討しますが、これまでの例に倣い、①記念誌発行（含OB名簿整備）、②記念祝賀会開催、③招待試合実施、④記念品作成（現役に寄贈）が中心になると思われます。

事業実施に当たりましては、OB各位には負担金を始め、種々ご協力を賜ることとなりますので、よろしくお願い申し上げます。

【過去の記念事業の概要】

周年	実施時期	内 容
30	昭和52年4月	記念誌発行、記念祝賀会（中小企業福祉センター）、OB戦（日立一高G）、部歌制作
40	昭和61年3月	記念誌発行、記念祝賀会（ホテル天地閣） ※会瀬グランド 記念招待試合（大雪の中、vs 全明治大学8-3で惜敗、vs 明大中野高校8-8で引分）
50	平成7年3月	記念誌発行、記念祝賀会（ホテル天地閣）、記念品寄贈（ゴールポスト2基（1対）） 記念招待試合（vs 常総クラブ17-38で勝、vs 修徳高校21-24で勝） ※市民運動公園G
60	平成18年6月	記念誌発行、記念祝賀会（ホテル天地閣）、記念品寄贈（セカンドジャージ 30着） 記念招待試合（vs 太田一高OB 12-59で勝、vs 太田一高 10-20で勝） ※日立一高G



【60周年記念招待試合 集合写真 vs 太田一高OB】



【60周年記念祝賀会 鏡割り】

○ がんばれ「付属中」ラグビー部！！

昨年4月、附属中学校の誕生とともにラグビー部が設立されましたが、現在、1年生8人（うち女子2人）、2年生4人、計12人の部員が、顧問の萩原知樹先生の下、学業との両立をモットーに、元気に練習に励んでいます。

練習は基本的なハンドリングやランのほか、タグ・ラグビーを中心に取り組んでいますが、最近ではラグビースクール（少年団）の中学生の練習にも参加するなど、意欲的に活動しています。



OB会としても、この子たちが大きく育つよう、またモチベーションが更に高まるよう、この秋、練習用ジャージ（襟と袖が黒、胴がゴールド、胸に「Hitachi First」の刺繍入）を贈呈しました。

これからも、できる限り支援をしていきたいと思います。

○ 平成25年度 学年幹事会 開催報告

前年度の事業報告や本年度の事業計画等を審議する学年幹事会を7月6日（土）に出席者21人（役員・学年幹事17人、賛助会員2人、父母会1人、監督1人、ほか委任状提出56人）で開催しました。

議事については、平成24年度事業報告及び決算、平成25年度事業計画及び予算について原案どおり承認。

部員数拡大の支援に関しては、OB会予算でプロモーションビデオを作成し、部員勧誘時に活用するほかインターネット上のユーチューブなどで広くPRに努めることについて承認をいただきました。なお、部員、監督等とも相談しながら速やかに作成し、できれば秋以降の部員勧誘に活用することとしました。

創部70周年記念事業については、今秋に実行委員会を設置し、開催時期及び内容について検討を開始することとしました。（※1頁目に既述のとおり、その後9月21日（土）に役員会を開催し、事業実施は平成28年6月、実行委員会は平成26年7月の学年幹事会を目途に設置することとなりました。）

また、OB会の規約を一部見直し、役員の70歳定年に例外規定を設け、総会または学年幹事会の承認を得たときは、任期を延長できることとしました。これに基づき、尾又現会長には、創部70周年記念事業の実施まで留任していただくことを、全会一致で承認しました。

1. 平成24年度活動報告

1-1 主な支出の状況（実支出額）

（単位：千円）

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	60	64	+4	26人参加
2) 役員会	20	1	-19	ゴルフコンペ等
3) OB会報発行	140	144	+4	10月に第15号を発行
4) 各大会への資金援助	80	80	0	
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	
6) 菅平への指導員派遣	50	50	0	
7) ミニ合宿への資金援助	60	50	-10	秋・春ともに実施
8) 茗溪・清真とのOB戦	50	0	-50	会場が確保できず断念
9) ゴルフコンペ開催	0	14	+14	日帰りのみで実施
10) 蹴り初め開催	0	-6	-6	OB戦及び交流会（豚汁）
11) 交流・親睦会	80	92	+12	秋合宿BBQ、新年会等
12) 慶弔費	20	20	0	故天野倉修氏葬儀
13) 事務費	50	40	-10	事務用品購入、郵送料等
14) その他（予備費）	10	122	+112	ビデオカメラ購入、講演会開催等
計	670	721	+51	予算枠を超過

1-2 主な収入の状況（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：千円)

	年会費		広告料		計
平成23年度 予算	400	105人	250	16件	650
" 決算	361	108人	215	11件	(89%) 576
平成24年度 予算	380	110人	220	12件	600
" 決算	388	106人	205	11人	(99%) 593

1-3 会計報告（収支総額）

(単位：千円)

	予算（円）	実算（円）	増減（円）
前年度繰越	706,030	706,030	0
当年度収入	670,000	593,119	△76,881
当年度支出	670,000	720,888	50,888
次年度繰越	706,030	578,261	△127,769

※年会費納入者は前年度より2人減少しましたが、納入額は微増。収入が目標金額の670千円に達せず、支出も予算枠を超過したため、繰越金が前年残高より約128千円減少しました。

2. 平成25年度 事業計画及び予算

2-1 重点方針

- 1) 収入の確保と予算枠の厳守
- 2) 現役の活動支援
- 3) 父母会との連携強化
- 4) 部員拡大の支援
- 5) 創部70周年記念事業の検討

2-2 支出の部

(単位：千円)

	H24 決算	H25 予算	内 容
1) 学年幹事会	64	65	
2) 役員会	1	10	創部70周年記念事業検討
3) OB会報発行	144	144	10月に第16号を発行予定
4) 各大会への資金援助	80	80	
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	
6) 菅平への指導員派遣	50	50	
7) ミニ合宿への資金援助	60	60	秋合宿、春合宿 各2泊3日
8) 茗溪×清真OB戦への参加	0	0	継続検討
9) ゴルフコンペの開催	14	20	実施方法検討
10) 蹴り初め開催	-6	0	OB戦及び豚汁
11) 交流・親睦会	92	90	秋合宿BBQ、新年会等
12) 慶弔費	20	20	
13) 事務費	40	50	事務用品購入、郵送料等
14) その他（予備費）	122	61	部員拡大への取り組み
計	721	700	前年比 -21千円

2-3 収入の部（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：千円)

	年会費		広告料		計
平成24年度予算	380	110人	220	12件	600
" 決算	388	106人	205	11人	593
平成25年度予算	400	120人	240	14件	(108%) 640

○ 平成25年度 菅平遠征合宿

平成25年8月2日(金)～6日(火) 日立一高ラグビー部は、恒例の菅平遠征合宿を実施しました。

今年は、1年生5人、2年生4人、3年生5人の計14人での参加となりましたが、太田一高から草野くん(3年)、田中くん(1年)の2人が参加し、岡崎(2年)を虫垂炎で、野中(2年)をアキレス腱痛で欠く中、ギリギリ15人のメンバーでの合宿となりました。

OB会からは、尾又会長夫妻、益子、木下、丸橋(大学3年)、父母会からは芳賀会長、小宮さん、大谷さん、市村さん(日帰り)が参加し、「ロッジ松の実」を拠点に、昼はラグビーの指導と応援、夜が更けるまで懇親を深めました。

初日の午後と2日目・3日目の午前は、宿舎である「向井館」のグラウンドで基本練習、2日目・3日目の午後と4日目は、6チームと延8ラウンドの練習試合を実施。残念ながら全敗に終わりましたが、最終戦の北越高校(東京)との試合では気迫のこもったタックルと果敢なアタックで、後半の後半は何度もゴール前に迫り、あわや逆転勝利!との期待も抱かせました。

太田一高の2人もすっかりチームに溶け込み、最後にチームが一丸となれた実り多い合宿となりました。

【試合結果】

3日(土) 午後	湘南高校(神奈川)	12-0	・前半の前半は敵陣に相手を釘付けにする場面もありましたが、決定力を欠き、経験の差がスコアに現れた試合となりました。
		19-0	
4日(日) 午後	若狭高校(福井)	40-0	・大型チームに体格・体力で圧倒されましたが、最後までよく食い下がりました。
	太田高校(群馬)	17-5	・実力はほぼ互角と思われましたが、チームとして相手に一日の長がありました。
5日(月) 午前	八千代松陰(千葉)	36-0	・雨の中、集中力と気迫を欠き、一方的なゲームとなりました。何を仕掛けてもうまくいかず・・・というより何も仕掛けられなかった試合でした。
		45-0	
午後	千葉経済大(千葉)	27-0	・午前の試合から気持ちを切り替え、体を張って頑張りましたが、相手の執拗で巧妙なモール攻撃に対応しきれず、苦杯を喫しました。
	北越高校(東京)	12-7	・12-0とリードされて迎えたラスト10分、開き直ったのか果敢にアタックを開始、終了5分前にはフッカー磯前がゴール正面にトライ、その後も連続攻撃でゴールに迫りましたが、一步及ばずノーサイド。勝ち切ることの難しさを痛感した試合でした。



○ 今年度の現役部員の戦績

【平成24年度全国高校総体(兼)第92回全国高校ラグビー大会茨城県予選】 ※前号に未掲載のため参考

2回戦	日立一	122	-	0	合同C
準々決勝	日立一	14	-	39	つくば秀英

【平成25年度茨城県高校ラグビー新人大会】

2回戦	日立一	62	-	0	合同B
準々決勝	日立一	17	-	77	常総学院
5位決定戦	日立一	20	-	36	水戸一

【第61回関東高校ラグビー大会 茨城県大会】

2回戦	日立一	65	-	5	水城
準々決勝	日立一	10	-	78	茗溪学園
5位決定戦	日立一	42	-	17	水戸一

【平成25年度県民総体（兼）第67回国体ラグビー茨城県大会】

《第3グループ》

1回戦	日立一	31	-	0	水戸一
決勝	日立一	7	-	54	勝田工



【平成25年度 新人戦 v.s.合同B】



【平成25年度 県総体 v.s.勝田工】

○「蹴り初め」を開催しました

新春恒例の「蹴り初め」を、1月3日（木）に日立一高グラウンドで開催しました。

今年も好天に恵まれましたが、やや風が強い中、老若合わせて約80人のOB・OG・関係者が集まり、新年あいさつの後、午前10時過ぎから20分×3ラウンドのOB戦を行いました。

昨年、一昨年は大勢のOBが集まり、ポジションによっては短時間しか出場できない方もいた反動か、今年は逆に、試合に出られる年代の集まりが悪く、年長OBも複数ラウンドをこなしながら、何とか3ラウンドを終了することができました。

また、昨秋の全国大会予選終了後、5人の部員が退部を申し出たことから、この日も現役部員が12人しか揃わない中、丸橋・山口・渡辺など若手OBの力を借りてのOB戦となりました。

しかし、出場した選手たちは元気いっぱい、体格と経験に勝るOBの縦の突破やモールには苦しみましたが、持ち前の走力を生かし、OBの足が止まった各ラウンドの後半には、トライを連取していました。

試合終了後は、早朝から保護者達がつくってくれた豚汁を食べて解散。保護者の皆様、寒い中早朝からの準備ありがとうございました。



○ 第9回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

恒例となりました、日立一高ラグビー部OB会の第9回ゴルフコンペを下記の通り開催しますので、奮ってご参加ください。

過去に参加している方にはご案内を差し上げておりますが、参加したことのないOB会員の方で今回参加したいという方は下記宛ご連絡ください。折り返し今回の詳細なご案内をお送りします。

1. 日 時 11月16日（土）午前9時集合
2. 場 所 勿来TAIGAカントリークラブ
3. 費 用 10,000円（昼食代、プレイ後のパーティ費・賞品代含む）
4. その他 今回も、ゴルフ終了後の『宿泊会』は実施しません。

【ゴルフコンペ幹事：村山 功、TEL：090-1259-3197】

○ OB通信

このコーナーは、OBの方々に昔の思い出や近況等のご紹介をいただいています。今回は、黒澤次郎さん、長谷川将大さんにお願ひしました。お二人とも、お忙しい中をありがとうございました。

「扉」 黒澤 次郎 (昭和58年度 第36回卒)

高校卒業と同時に東京へ出た。紆余曲折を経て19年後日立に戻った。
今から10年前になる。その間、日立一高のグラウンドに行ったという記憶は無い。
程無くして、役所の近くで木下さんに会った。挨拶をしたら、それまであまり顔を合わせる事など無かった僕に、「一高の練習にも顔を出してくれ」と言われた。でも行かなかった。行けなかった。

およそ2年が過ぎ、息子が小学校に上がる年、適当な少年団を探した。武道を習わせようと思っていた。ラグビースクールという文字が目に残った。スタッフの中に自分に近い先輩、後輩の名前があった。もう考える必要は無かった。ここに預ければ間違いは無い。

こどもを預けるだけのつもりだったのだが、自分自身までもが「コーチ」として入団してしまった。断れる雰囲気ではなかった。それからは一高にも顔を出すようになり、60周年記念事業としての対太田一高戦にも参加した。ビーチタッチフットボール大会にも参加した(第8号 笠井くんの記事参照)。常陸不惑クラブの試合にも参加するようになった。丁度40歳を迎える時から、次々と扉が開かれて行く様であった。

もし自分がラグビーをやっていなかったら、と考えることがある。それなりに楽しみを見つけて、それなりには過ごしていたのだろうと思う。しかし今の、これ程までに充実した日々を過ごせていただろうか。小学生の試合を観ては幾度となく涙を浮かべ、中学生とともに花園出場の夢を追い、日立一高の古豪復活を信じ、不惑の試合で己が生きていることを実感する。全ては日立一高でラグビー部に所属していたおかげであり、あの時木下さんが背中を押してくれた一言があったからである。

日立一高ラグビー部が創部70周年を迎える年には丁度50歳になる。果たして、どの様な天命を知ることになるのだろうか。

「ラグビーやっている奴に悪い奴はいない」 長谷川将大 (平成21年度 第62回卒)

高校1年の春先、白亜会館の一室で、OBの益子さんがそう言ってラグビーの素晴らしさを語ってくれました。

当時の顧問であった鈴木康之先生に、「こっち来て名前書け」と言われるがまま入部した自分にとって、益子さんの言葉は、とてもその通りだとは思いませんでした。屈強なOBの方々に、タックル練習では何度も吹き飛ばされ、スクラムはゴリゴリに押され、試合では実力差でゲームにならない。ラグビーやっている奴は、理不尽さ溢れる悪い奴らばかりだと思っていました。でも、確かにラグビーやっている人に悪い人はいませんでした。

高校、大学とラグビー部で過ごし、ラグビーに育てられたと思います。力で負け、技術で負け、勝負で負け、ラグビー生活を思い起こすと、どうしても負けたことが思い起こされます。しかし、負ける度に燃えさせてくれたのがラグビーであり、一緒に戦ってきた仲間であり、諸先輩方、先生方でした。勝負事に勝つために、一生懸命になること、必死になることはラグビーから教わったと思っています。チームメイト、ターゲットとなる対戦相手がいたからこそ身についていったことだと思います。益子さんから教わった「ラグビーやっている奴に悪い奴はいない」を今になって噛みしめることができます。



【前列、左から2人目が長谷川さん】

ラグビーに育てられた私ですが、今年から子どもたちの成長をお手伝いする職に就くことになりました。

一年目で、押しは押し返されるスクラムが続く状況ではありますが、少しずつトライの本数を増やしていきたいと思っています。自分と関わった子どもたちと、いつか日立一高のグラウンドで一緒にラグビーをするのが今の夢です。その時は「ラグビーやっている奴に悪い奴はいない」を伝えていきたいです。

日立一高ラグビー部のますますの発展を祈っています。

○ 父母の会だより

父母の会会長 芳賀 隆雄さん（3年生：芳賀 章悟 君の父）

父母の会を担当させて頂いております、芳賀 隆雄と申します。

日頃より、先生方をはじめ、日立一高ラグビー部OB会の皆様方には大変お世話になっており、深く感謝申し上げます。

早いもので、息子たち3年生は、あっという間の3年が経とうとしております。

これまでの、戦績は思わしくありませんでしたが、生徒たちを見てみると、何となく、順調に成長していると思います。（学習も含めて）

これもひとえに、先生方、OB会の方々のおかげです。ですから、親としても出来るだけ、応援してあげようという気にさせてくれました。

思えば、まさか入るとは思っていなかったのが、親の口から「日立一高ではラグビー部が伝統あるんだって！！」とは言いましたが、本当に入部してしまったことは、我が家でのビックニュースでした。

最初は公式戦の応援ぐらいは行ってみようという程度でしたが、だんだん、ラグビーの素晴らしさを知り、それに感動を味わってからは、のめり込んでしまいました。

父母の会の会長としては、名ばかりでしたが、たくさんの感動を頂いてしまいました。感謝、感謝です。

1、2年生のみなさんにも、毎日へとへとで大変でしょうけど3年間、最後まで続けて行って欲しいと思います。きっと素晴らしい何かが得られるはずです。

最後に、OB会の皆様には、プロモーションビデオも出来ますし、ますます部員増加が期待されますので、なお一層の現役選手へのご指導をよろしくお願い致します。



○ 部員拡大に向けた「プロモーションビデオ」を作成しています。

全国大会県予選を迎えるに当たって、現在の部員数は15人ちょうど。3年生が引退すると、残るは2年生5人と1年生5人だけ。従って、今のままでは新人戦には合同チームでの参加になってしまいます。

公式戦には、平成18年（創部60周年記念事業を実施した年）の全国大会予選以降、ずっと単独チームで出場してきましたが、その記録も途絶えてしまいます。

昨年4月の中高一貫教育校への移行に伴い、クラス数や男子生徒の比率減少などから、部員の確保が厳しくなることは覚悟していましたが、ここに来て、現実の問題として浮き彫りになってきました。

部員や先生方も懸命に努力していますが、そもそも日立一高は部活加入率が高いことから、いわゆる「帰宅部」の面々を掘り起こすことも難しい状況です。

そこで、部員拡大に向けた勧誘活動を支援するため、7月の学年幹事会にもお諮りしたように、OB会が費用負担して、勧誘促進・PR用の「プロモーションビデオ（上映時間10分程度）」を作成することにしました。

完成後は、新入生対象の部活動説明会で上映することはもちろん、複写して部員たちに配って後輩や同級生に見せながら勧誘したり、さらにはインターネット上の「YouTube（ユーチューブ）」で公開したり、幅広く勧誘活動に活用する予定です。

既に既存の動画や静止画像等は制作会社に預けてあり、8月下旬の練習試合等も収録済ですので、内容のチェックを経てまもなく納品される予定です。

今後OB会ホームページでも見られるようにしますので、OBの皆様にもぜひご覧いただくとともに、部員勧誘にご協力ください。

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

平成25年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。

第1戦(1回戦)	10月 5日(土)	11:40	堀原運動公園自由広場	v s	水戸一高
第2戦(2回戦)	10月12日(土)	12:50	堀原運動公園競技場	v s	三和高と合同Bの勝者
第3戦(準々決勝)	10月19日(土)	12:50	〃	v s	つくば秀英高
第4戦(準決勝)	10月26日(日)	12:20	〃		
第5戦(決勝)	11月11日(日)	13:00	ケーズデンキスタジアム水戸		

順当に勝ち上がれば、準々決勝は、昨年同様つくば秀英高との対戦です。昨年は14-39と敗れましたが、一時は14-15と詰め寄る場面もありました。

夏を乗り越え、怪我人も復帰して意気上がる現役部員たちが、私立4強の一角を崩し、さらに上位を目指してくれることを期待しています。

皆さんの声援が、部員への大きな励みになります。どうか、多くの方々がグラウンドにおいでいただき、激励してくださいようお願いいたします。(組合せ等の詳細は、OB会ホームページをご覧ください。)

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(次頁参照) 広告料は年1回発行で1口1万円以上ですが、12人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計215,000円のご協力をいただきました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

○ 編集後記

今年の春の卒業生たちは、9人全員が現役で大学に進学し、うち7人が国立大学に合格しています。在学中から文武両道を実践し、逞しく成長している部員たちの様子をプロモーションビデオやOBのネットワーク等により広くPRすることで、部員の確保に繋げていきましょう。

2016年のリオ五輪では、7人制ラグビーが正式種目として採用され、2019年にはワールドカップが日本で開催(おまけに茨城国体も開催)されます。更には2020年には東京五輪が開催されるなど、ラグビーへの関心を高めるための格好のイベントが目白押しとなっています。

この会報を読んだOBのみなさん、ぜひ周りの小・中・高校生に声を掛けてください。みんなで日立一高ラグビー部を盛り上げていきましょう!!

ちなみに、附属中1年のY.O.君が、受験生向け部活紹介のパンフに次のように書いていたのでご紹介します。

「みなさんは、ラグビーというスポーツをやったことがありますか？」

ラグビーには、ほかのスポーツにはない楽しさがあります。例えば、トライを取ったときの気持ちよさ、相手をタックルで倒したときの達成感など、いろいろな楽しさです。ラグビーには「1人はみんなのために、みんなは1人のために」という言葉があり、勝った喜びをみんなで分かち合い、負けたときはみんなで悔しがるスポーツです。

僕が附属中に進学しようと思った理由は、ラグビー部があるからです。今ではラグビー部に入部し、高校生の迫力ある練習を間近で見せてもらいながら、先輩や友達とともに練習に励んでいます。僕は、将来の夢を叶えるために勉強に取り組むとともに、ラグビーの練習を頑張りたいと思っています。

部活動と勉強を両立させて、一緒に頑張りましょう。」・・・なんだか、胸が熱くなるほど素晴らしいですね。

(編集スタッフ一同)

日立一高ラグビー部OB会報 第16号

発行責任者：幹事長 木下 俊雄(昭和54年度 第32回卒)

事務局長 金澤 勉(平成4年度 第45回卒)

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】0294-21-4890 (FAX同じ)

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話：0293-22-3157

株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話：0294-36-1681

有限会社 川西碎石

常務取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話：0294-33-0359

秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話：0294-36-1987

株式会社トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 市川市新井3丁目15番28号

電話：047-396-7176

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙 828 番地の3

SATOビル2階

電話：0296-48-8875

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 尾又 篤 ほか

(昭和36年度 第14回卒)

茨城クリーン有限会社

代表取締役 夏井 一郎

(昭和37年度 第15回卒)

〒310-0804 水戸市白梅3丁目10番5号

電話：029-231-7741

尾又運送株式会社

代表取締役 尾又 彰彦(平成2年度卒)

取締役会長 尾又 篤(昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話：0294-36-2856

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話：0294-22-0807

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話：0293-46-5110

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話：0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話：0293-46-0172

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 芳賀 隆雄

(ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！